令和4年第58回厚木市民文化祭俳句大会表彰者一覧表

令和4年10月15日

特選句		BB	20			19			18			17	16			15	14			13			12		11		10		9		8			7		6		5	4			3			2		1			順位
県俳連会長（清水呑舟）	厚俳協会長（川島浩平）	入選	入選			入選			入選			入選	入選			当日賞	入選			入選			入選		入選		入選		入選		入選			入選		入選		入選	厚木市俳句協会会長賞			厚木市教育長賞			厚木市議会議長賞		厚木市長賞			賞
1	5		5			5			5			5	5			6	6			6			6		6		7		7		8			8		9		9	11			12			16		16			総得点
1	1		3	1	1	1	2	2	1	2	2	5	1	2	2	3	2	3	1	3	2	1	2	3	5	1	5	2	4	3	2	1	5	4	5	4	9	3	4	4	5	2	5	2	14	4	3	9	得点
41	86	74	97	65	6	89	12	2	79	56	23	69	68	53	38	100	90	99	92	52	103	73	47	61	28	63	10	77	31	87	83	59	36	9	95	50	84	16	13	106	101	86	98	41	30	81	67	58	35	17	順番
絶妙の妻の人肌温め酒	渾身に溯（のぼ）りし川を鮎落つる	舞殿の鈴の音色や秋高し	歳時記になじむ暮らしや星月夜	母の意の年経て重し小夜時雨	包丁をつかみはなさず南瓜かな	花野原しづかに移る雲の影	風よりも大きく揺れる秋桜	鬼やんま尻尾で水輪描きけり	みかけより太刀魚うまし柔らかし	晩学の五七五の音（いん）新酒酌む	秋の空鳩も鴉も高く飛び	新わらにふわり子豚や乳房吸ふ	ななかまど躓り口から次の世へ	そう言えば恋だったかも草の花	追伸は金木犀が散りました	豊の秋旧家に残る飢餓日誌	零余子飯夫婦いつしか似てきたる	秋簾受け流す術覚えけり	一山が吹つ飛びさうな台風裡	夜長かな女二人の旅の宿	とどまりて川風つかむ蜻蛉かな	絶え間なき母の寝息や虫の声	靴底は人それぞれや鰯雲	爽やかに雲に近付く観覧車	曼珠沙華鎌倉武士の駆けし道	幾度のまさかを超えて豊の秋	夕間暮今年限りの柿たわわ	一周忌済みて妻恋ふ男郎花	相州に残る一村柿熟るる	庭を掃く秋の深さを知る箒	陽の温くみ残りし栗を拾ひけり	夕されば片寄せ合ひて藁ぼつち	外路樹の私語（さざめ）色なき風の中	胸に棲む静かな焔（ほむら）曼珠沙華	病める児に何より薬りんご捕る	秋の夜や虫に聴覚書に視覚	日の匂ひ風の匂ひや大苅田	生かされて生きる人生吾亦紅	ポケットの木の実こぼるる逆上がり	まづ水を褒（ほ）めて大山新豆腐	芒野を狭しと風の鬼ごつこ	渾身に溯（のぼ）りし川を鮎落つる	蔓（つる）を引く赤帽黄帽いも畑	「ご自由にお持ちください」新松子	「出来立て」と墨痕太き新豆腐	墓のみの故里遠し彼岸花	信濃路の右に左に稲田照る	抽出しのくすりの匂ふ子規忌かな	閉園の像の背中や小鳥来る	稲雀旅の一座のやうに来る	受賞句
海老名	茅ヶ崎	茅ヶ崎	厚木			厚木			厚木			厚木	山北			茅ヶ崎	町田			町田			茅ヶ崎		おほゐ		厚木		海老名		厚木			厚木		座間		茅ヶ崎	茅ヶ崎			伊藤あつ子			厚木		茅ヶ崎			住所
河野　大三	清水　呑舟	日高　朝代	古川　秀子			北村　純一			渡辺ひさ子			松本　敏夫	中山　妙子			西岡　青波	平野　征子			米倉　吉夫			奥村　ゑ子		小野　菊土		鈴木　静子		大澤　秀子		池田　直子			佐藤　洋三		鈴木　幸子		八城　湖楊	清水　呑舟			伊藤あつ子			大山　道子		土屋　節子			氏名